

Press Release

平成 27 年 7 月 24 日

宮崎大学
道の駅「つの」
国土交通省 宮崎河川国道事務所

記者発表資料

宮崎大学と道の駅「つの」の連携

～道の駅をにぎわい拠点とした都農町の新たな地域おこし～

大学と「道の駅」の交流・連携の一環として、宮崎大学と道の駅「つの」及び宮崎河川国道事務所が連携企画型の実習を行うことになりました。

大学と「道の駅」の連携企画型としては県内初の取り組みで、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するとともに、「道の駅」が地域活性化の拠点を目指して進化を遂げるため、大学と「道の駅」がお互いのニーズを確認し、付加価値を創出する企画・立案等を実施するものです。

【実施内容】

○都農町の道の駅「つの」で7月31日に開催される『YUKATA PARTY』の内容を、**学生が企画立案し、連携して実施**します。

スケジュール

- ・7月28日（火）13:00～ 宮崎大学生の都農町での活動の拠点として、連携推進室を設置（道の駅「つの」交流会館会議室）
- ・7月31日（金）18:00～ 道の駅訪問実習（YUKATA PARTY 本番）併せて現状を把握するためのアンケート、インタビューを実施

○今後、特産品を活かした商品開発や、にぎわいを創出する企画の立案を予定しています。

問い合わせ先



宮崎大学 教育文化学部
准教授 根岸 裕孝

TEL：0985-58-7480（直通）



◎都農町 総合政策課 課長補佐 山本 眞士
道の駅「つの」 駅長 福地 清己

TEL：0983-25-5711（直通）

TEL：0983-25-5055（代表）



国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 TEL：0985-24-8221（代表）
総括保全対策官 植田 定 ◎交通対策課長 那須 一彦

宮崎大学と道の駅「つの」の連携

宮崎大学の学生と道の駅「つの」が連携して、「道の駅」を『にぎわい拠点』とした新たな地域おこしに取り組みます。

現状の把握

OYUKATA PARTY

- ・イベントの一部を企画・運営
- ・基礎資料の収集として、来場者へのアンケート、インタビューなどを実施

○都農高校生を含めたワークショップ

- ・都農町の現状や課題等について、将来を担う高校生を含めてワークショップを実施（共同での事業展開も模索）

○マーケティング調査の実施

今後の予定

○地域の特色を生かした企画を立案

- ・地場の特産品を活かした商品開発
- ・イベントの企画、実施など

道の駅「つの」を中心とした“にぎわい”を創出



YUKATA PARTY

7月31日
開催

【都農高校を含めたワークショップ】



【特産品（フルーツトマト）】



【宮崎大学】

宮崎大学は教育文化学部、医学部、工学部、および農学部の4学部と大学院研究科（修士課程および博士課程）から構成され、およそ5,600名の学生と1,400名の教職員を擁しています。

平成28年4月、新たに地域経済活性化と地域振興を実現できる人材を育成する「地域資源創成学部」を設置し、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目指しています。（設置申請中であり、内容等については、現時点における予定）

「みやだいもうくん」



【道の駅「つの」】

「地域の「旬」が集まる物産館」

道の駅「つの」は、延岡市と宮崎市のほぼ中間に位置し、交通の要である国道10号沿いにあり、東九州道都農ICからも約5分の位置にあります。



「道の駅」と隣接する日向国一之宮都農神社とを「開運橋」にて直結し門前町を形成するような作りになっており、物産館「門前市場」では地採れの新鮮で安心な野菜や魚、また都農町を代表する都農ワイン等が並びます。また防災用トイレ、非常用電源、防災備蓄倉庫等の防災機能を備え、非常時には地域の防災拠点となる施設です。